

トラブル事例 1 無料通話アプリでいじめ



ちょっとしたことで、いじめの対象に

クラスメイト10数名で無料通話アプリを始めたAさん。しばらくしてある1人が「Bさんがムカつく」と言い出し、Bさん以外の皆で別のグループをつくる「はずし」が起きた。はずされたBさんはそのことを知らないが、Aさんは「自分もいつははずされるかわからない」と心配に。また、「グルチャ」では書き

込みに対する既読表示機能があるため、既読なのに返事を書き込まないと「既読スルー（無視した）と非難される」など、いじめの対象にされるかもしれないという不安から、いつしかスマホが手離せなくなりました。最近はグルチャに楽しさよりも負担を感じている。

生徒の皆さんへ

- 自分がされてイヤなことは、人にもしない
- 何かあったら1人で悩まず、信頼できる大人に相談

※本書のトラブル事例は、実際にあった事件等を基に、内容の一部を変更して紹介しています。



【無料通話アプリ】無料通話やメッセージのやりとりができるアプリケーションソフトウェア。代表的なものに「LINE（ライン）」「KakaoTalk（カカオトーク）」「Comm（コム）」「Skype（スカイプ）」などがある。

はずし、追放、スルー…

LINEをはじめ、最近、どんどん利用者が増えている無料通話アプリ。その増加に伴い、無料通話アプリの利用に起因する「いじめ」の相談件数も増えています。また、インスタントメッセージ（チャット、グルチャ）は利便性が高い反面、短文のために軽はずみな発言や感情がストレートに表現されることから、けんかや大きなトラブルに発展するといった問題が起きています。

保護者の予防対策

- 無料通話アプリを快適に使うためのモラルやルールを話し合う
スマホでも対面でも自分がされてイヤなことは人にしないなど、コミュニケーションの基本となるモラルを子どもと話し合い、使い方のルールもあらかじめ決めておきましょう。
- 友達と使い方のルールを話し合うようアドバイスする
無料通話アプリを友達と始める前に、生活に支障が出たり、いじめが起きたりしないよう、子ども同士で利用時間帯などのルールを話し合うようアドバイスしましょう。
- 子どもと同じアプリを試しにしてみる
子どもと同じアプリを保護者が使うこともトラブル防止に有効です。仕組みを知っていれば、トラブルの原因が理解しやすくなります。使わない場合でも、アプリのインストール時に設定を一緒に行うなど、利用を子ども任せにしないようにしましょう。



子どもたちが直面している被害事例が、スマホで疑似体験できます。
『スマホにひそむ危険 疑似体験アプリ』
<http://www.daj.jp/cs/sp/app/>
提供/デジタルアーツ株式会社

博士からのひとこと

ネットいじめについて親子で考える時、「親は何があってもあなたの味方である」と子どもを安心させることも大切じゃ。



【はずし、追放、スルー】無料通話アプリに起因するいじめの種類。はずし、スルーは本文中にあるとおり。追放は強制退会機能を使い、本人の同意なしにグループから退会させること。【グルチャ】グループチャットの略。無料通話アプリのサービスのひとつで、短文のメッセージをグループ全員でやり取りできる機能。グループトーク・インスタントメッセージ・ショートメッセージなどと呼ばれることもある。